

《報告日》	06年12月13日(水)
《開催日》	06年6月5日(月)
《場所》	八木橋労働組合事務所

《報告者》	労組名	八木橋労働組合
	氏名	茂呂 貴裕

## JT「ひろえば街が好きになる運動」について

### 「ひろえば街が好きになる運動」とは？

JTは「チーム・マイナス6%」が提案するCO<sub>2</sub>排出量削減のために提案する6つのアクションのなかの1つ「買い物とゴミで減らそう」に着目し、清掃活動を通じてのCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでいます。

地元の方々と共同して取り組むことによって、より地域に根ざした身近な活動として生活者に広まり地域の環境美化・マナー向上に結びつくことも考え、地域団体への参加協力を求めています。そしてゴミを「ひろう」という体験を通じて、「すてない」気持ちを育てたい。もっともっと捨てない人を増やしたい。そんな願いから生まれた活動です。

運動はお祭りやイベント会場を中心に開催されています。協力地域団体が運営に参画し、以下の手順で展開いたします。

参加受付（特設店と周辺でご来場の皆さまに参加の呼びかけを行い、受付と清掃ツール（ゴミ袋・軍手・参加証）の配布）

ゴミを自由に集めてもらう

特設テントでゴミの回収

ゴミ袋と引き換えに、ご協力の御礼として記念品をお渡しする。

テントや机、清掃ツールなどはJTでご用意いただけるとのことです。

### 日本たばこ産業株式会社 埼玉支店 社会環境推進チーム 佐藤泰之さんを招いて

お忙しいところをご足労頂き、お話を伺わせて頂きました。きっかけは手前どものお店で開催した「くまがやエコライフ」の会場にJTが出展しており、熊谷「うちわ祭り」での協力団体を探しているということからでした。

活動は基本的に地域に根ざしているということから、行政に働きかけているということですが、活動が世間に認知されるにつれ地域の商工会議所や青年団などからお声がかかることも多くなったそうです。ちなみに共催団体名が特設ブースの看板に名称が入ります。

共催イベントの規模にもよりますが運営のための最低実施人員があるそうで「うちわ祭り」の場合、2日間延べ50人（JT主催者含め）は必要とのことでした。埼玉県まちづくり実行委員会では、会場の設営などなど、運営にも役割りがそれぞれあり、組織的な参加が必要と判断し、今回の参画は見送りましたが、次回のまちづくり実行委員会に招いてお話を伺うことにしました。